

我が国の経済連携協定（EPA）外国人看護師に関する文献検討

支援内容の現状と課題

Literature Review on Foreign Nurses to Japan Under the Economic Partnership Agreement (EPA)
Regarding the Support Contents, Current Status and Challenges Facing

○高田絵理子¹, 李孟蓉¹

Eriko Takada, Moyo Ri,

¹ 高崎健康福祉大学

Takasaki University of Health and Welfare

【背景と目的】

我が国では経済連携協定（EPA：Economic Partnership Agreement）に基づき外国人看護師（以下、外国人看護師）の受け入れが2008年度から始まり、3カ国（インドネシア、フィリピン、ベトナム）から来日した外国人看護師候補者は2022年度までに約1,500人を超え、その内看護師国家試験の合格者総数は500人を超えている。他方で外国人看護師が、国家試験合格後に日本で継続して就労をしている者は、国によって差はあるが、3割から6割程度となっており（厚労省統計）、外国人看護師が我が国で就労を継続し、定着するまでには課題が残されているといえる。また、外国人看護師の受け入れが始まってから15年が経過しており、看護の職場において多様な人材、多様な働き方を認め、活用するというダイバーシティの観点も問われている。外国人看護師候補者における看護師国家試験の近年の合格率は、ベトナムが40%代、インドネシア、フィリピンが共に10%代と国家資格を取得するまでが難関となっている。その難関を突破して日本で看護師として働く者に対して、多様な支援を提供し、将来を見据えて仕事ができるように環境を整えることは重要である。そこで本研究の目的は、EPA外国人看護師の職場定着に向けて必要な支援について先行研究を概観し、今後の課題について検討することである。

【方法】

対象文献の選定方法として、医学中央雑誌を用いてキーワードを「看護師」「経済連携協定」「外国人」に設定し、2009年から2022年6月までに国内で発表された文献を検索し、69件の文献が検出された。さらに文献の精選手順として、解説及び特集を除き、研究対象をEPA外国人看護師に限定した文献（介護福祉士は除く）が24件抽出された。

【結果】

対象となる24件の文献について、施設が外国人看護師に対して提供している支援に焦点をあててクリティークを行ったところ、『継続学習支援』、『異文化への適応支援』、『看護業務への適応支援』の3つのカテゴリーに分類された。『継続学習支援』については、日本語・専門用語に関する言語習得、日本の医療制度・社会保障制度の理解、日本の文化・習慣の理解を深める支援が提供されていた。『異文化への適応支援』については、宗教上

の生活習慣への適応、異国で生活することの精神的な支援が提供されていた。『看護業務への適応支援』については、母国で実施経験のない療養上の世話や経験する機会が少ない特定の医療行為等の対応に関する支援が提供されていた。

【考察】

外国人看護師が日本で就労を行う上で困難を感じていることとして言語の問題が大きい。業務時に日本語での意思疎通が難しい状況があり、口頭での意思疎通が困難な場合、IT等の活用により可視化できる手段を取り入れる工夫が必要である。異国での生活によるストレスの緩和として、SNSを通して、日本に住む同国籍の人との交流や活動も盛んになっている。国別のコミュニティ・グループが存在し、母国語で意思疎通ができる場として有効な資源となっている。外国人看護師が母国で実施経験のない療養上の世話や医療行為については、国際厚生事業団作成の「経済連携協定（EPA）に基づく看護師の指導者ガイドブック」の活用により、出身国の看護事情を理解する上で有用である。また、EPA看護師の受け入れを行っている3カ国に対しては、母国で看護学生として学んでいる段階から希望をすれば日本の大学等に短期留学ができるよう、早期に日本での学習機会を提供することも必要であろう。

【まとめ】

EPA外国人看護師に対する職場定着に向けて必要な支援としては、日本語の習得に関する支援が重要であり、特に業務での意思疎通を円滑にできるような工夫が求められる。また日本に住む同国籍同士のネットワーク等を活用し、孤立させないような支援も重要である。また日本での看護現場に対するリアリティショックの軽減のために、母国で看護学生として学んでいる時期に、日本での看護事情を理解できるよう留学や研修の機会を提供することも一計である。

【利益相反】

開示すべき利益相反はありません。